

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エージーピー

コード番号 9377 URL <http://www.agpgroup.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山口 栄一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 小澤 秀之

TEL 03(3747)1631

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	5,140	1.2	410	22.7	422	36.8	240	148.3
25年3月期第2四半期	5,080	2.9	334	106.3	308	123.9	96	38.0

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 253百万円 (191.4%) 25年3月期第2四半期 86百万円 (25.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	17.24	—
25年3月期第2四半期	6.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	11,311	6,119	54.1
25年3月期	11,623	5,992	51.6

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 6,119百万円 25年3月期 5,992百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	9.00	9.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,727	2.5	788	△2.3	767	1.1	409	20.5	29.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	13,950,000 株	25年3月期	13,950,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	1,857 株	25年3月期	1,857 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	13,948,143 株	25年3月期2Q	13,948,143 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビューを手続実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第 2 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかに回復しつつあり、先行きについては、各種の政策効果による企業収益の改善や設備投資の増加傾向が続き、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されています。

航空業界は、円安の定着に伴う訪日旅客の増加等により堅調に推移しているなかで、大手航空会社によるネットワークの拡充、国内マーケットに定着した本邦 LCC のシェア拡大など、競争環境が変化しています。

このような状況下における当社業績は、売上高につきましては、動力事業、整備事業、付帯事業それぞれ堅調に推移し、3 事業合計で 51 億 40 百万円と前年同期比 59 百万円 (1.2%) の増収となりました。営業費用につきましては、整備事業、付帯事業において原材料費等が増加したものの、動力事業における減価償却費の減少、人件費の抑制等により、47 億 29 百万円と前年同期比 16 百万円 (0.3%) の減少となりました。

以上により、営業利益は 4 億 10 百万円と前年同期比 76 百万円 (22.7%) の増益、経常利益は、有価証券の売却ならびに有利子負債の圧縮による支払利息の減少等により、4 億 22 百万円と前年同期比 1 億 13 百万円 (36.8%) の増益となりました。

前年同期に鹿児島、熊本、長崎の各空港出張所閉鎖に伴う事業撤退損 1 億 28 百万円を計上した特別損失が大きく減少したこともあり、四半期純利益については、2 億 40 百万円と前年同期比 1 億 43 百万円 (148.3%) の増益となりました。

各セグメントの業績は次のとおりです。

① 動力事業

羽田空港をはじめとした国内線において、経費節減への取り組みを進めている大手航空会社向けの販売が減少したものの、訪日旅客の増加等に伴う関西空港などにおける国際線向けの販売に加え、本邦 LCC 向けの販売が増加したこと等により、売上高は 26 億 44 百万円と前年同期比 13 百万円 (0.5%) の増収となりました。

セグメント利益は、関西空港における減価償却費が大きく減少したこと、人件費を抑制したこと等により、4 億 20 百万円と前年同期比 1 億 16 百万円 (38.1%) の増益となりました。

② 整備事業

顧客の経費節減施策は継続しているものの、成田空港の航空会社関連施設における大口の設備更新作業の受注等により、売上高は 18 億 68 百万円と前年同期比 31 百万円 (1.7%) の増収となりました。

セグメント利益は、大口設備更新作業をはじめとして、原材料比率の高い受注案件が増加したこと等により、1 億 87 百万円と前年同期比 9 百万円 (4.8%) の減益となりました。

③ 付帯事業

フードカート販売が若干の減収となったものの、各空港における設備・備品販売の増加等により、売上高は 6 億 27 百万円と前年同期比 14 百万円 (2.3%) の増収となりました。

セグメント利益は、原材料費の増加に加え研究開発費、広告宣伝費等の増加により、1 億 21 百万円と前年同期比 18 百万円 (13.3%) の減益となりました。

(単位：百万円)

	売上高			セグメント利益		
	26 年 3 月期 第 2 四半期	25 年 3 月期 第 2 四半期	前年同期比 (%)	26 年 3 月期 第 2 四半期	25 年 3 月期 第 2 四半期	前年同期比 (%)
動力事業	2,644	2,631	100.5	420	304	138.1
整備事業	1,868	1,836	101.7	187	197	95.2
付帯事業	627	613	102.3	121	140	86.7
合 計	5,140	5,080	101.2	730	642	113.7
全社費用*				319	307	103.9
営業利益				410	334	122.7

*全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費です。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第 2 四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度（以下「前期」という）末比 3 億 11 百万円（2.7%）減少の 113 億 11 百万円となりました。

流動資産は、前期末比 94 百万円（1.7%）減少の 55 億 71 百万円となりました。主な要因は、流動性の高い有価証券の購入により 4 億円、商品及び製品、仕掛品等の棚卸資産が 3 億 29 百万円増加したこと等により現金及び預金が 5 億 16 百万円減少したことに加えて、受取手形及び売掛金が 3 億 47 百万円減少したこと等によります。

固定資産は、前期末比 2 億 17 百万円（3.6%）減少の 57 億 40 百万円となりました。これは、羽田空港等に当社設備を新規に設置したものの既存固定資産の減価償却が進み、有形固定資産が 2 億 3 百万円減少したこと等によります。

(負債)

流動負債・固定負債は、前期末比 4 億 39 百万円（7.8%）減少の 51 億 92 百万円となりました。主な要因は、未払金が 1 億 11 百万円減少し、流動負債・固定負債を合算した長期借入金を 2 億 38 百万円返済したこと等によります。

(純資産)

純資産合計は、前期末比 1 億 27 百万円（2.1%）増加の 61 億 19 百万円となりました。これは、当四半期純利益および剰余金の配当を加減算した結果、利益剰余金が 1 億 14 百万円増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期業績見通しにつきましては、各事業の業績が概ね想定した範囲内で推移していることから、現時点では期初の業績予想を変更していません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,362,752	1,846,502
受取手形及び売掛金	1,614,396	1,266,656
有価証券	891,354	1,291,664
商品及び製品	80,191	226,909
仕掛品	85,429	202,901
原材料及び貯蔵品	343,884	409,460
その他	289,179	327,790
貸倒引当金	△1,022	—
流動資産合計	5,666,165	5,571,886
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,364,575	9,462,274
減価償却累計額	△7,303,430	△7,427,510
建物及び構築物(純額)	2,061,144	2,034,764
機械装置及び運搬具	7,941,440	7,909,284
減価償却累計額	△6,265,792	△6,266,977
機械装置及び運搬具(純額)	1,675,648	1,642,307
その他	481,794	483,251
減価償却累計額	△437,898	△445,041
その他(純額)	43,895	38,210
土地	110,608	110,608
リース資産	636,383	642,404
減価償却累計額	△374,369	△429,157
リース資産(純額)	262,013	213,247
建設仮勘定	640,608	551,351
有形固定資産合計	4,793,919	4,590,488
無形固定資産		
ソフトウェア	21,010	15,195
その他	15,575	31,758
無形固定資産合計	36,585	46,954
投資その他の資産		
投資有価証券	123,940	141,199
敷金及び保証金	221,051	203,393
その他	781,967	758,055
投資その他の資産合計	1,126,959	1,102,647
固定資産合計	5,957,464	5,740,090
資産合計	11,623,629	11,311,976

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	539,548	571,819
1年内返済予定の長期借入金	497,450	420,050
リース債務	118,921	117,540
未払法人税等	200,251	168,801
未払金	286,914	175,118
資産除去債務	—	1,318
その他	539,815	510,740
流動負債合計	2,182,902	1,965,390
固定負債		
長期借入金	1,737,450	1,576,125
リース債務	170,960	118,965
退職給付引当金	1,507,561	1,496,869
資産除去債務	32,443	34,552
その他	210	210
固定負債合計	3,448,625	3,226,722
負債合計	5,631,527	5,192,112
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,038,750	2,038,750
資本剰余金	114,700	114,700
利益剰余金	3,840,920	3,955,869
自己株式	△630	△630
株主資本合計	5,993,739	6,108,689
その他の包括利益累計額		
その他の有価証券評価差額金	△1,638	11,174
その他の包括利益累計額合計	△1,638	11,174
純資産合計	5,992,101	6,119,864
負債純資産合計	11,623,629	11,311,976

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	5,080,619	5,140,145
売上原価	4,379,599	4,353,176
売上総利益	701,019	786,968
販売費及び一般管理費	366,305	376,168
営業利益	334,714	410,800
営業外収益		
受取利息	638	1,240
受取配当金	769	2,669
保険配当金	901	961
保険事務手数料	698	605
投資有価証券売却益	—	24,772
その他	257	1,098
営業外収益合計	3,265	31,347
営業外費用		
支払利息	26,775	18,691
その他	2,289	1,001
営業外費用合計	29,064	19,692
経常利益	308,915	422,455
特別損失		
固定資産除却損	4,914	13,218
事業撤退損	*1 128,018	—
減損損失	—	*2 4,659
特別損失合計	132,933	17,878
税金等調整前四半期純利益	175,981	404,577
法人税、住民税及び事業税	162,660	165,242
法人税等調整額	△83,545	△1,147
法人税等合計	79,115	164,094
少数株主損益調整前四半期純利益	96,866	240,482
四半期純利益	96,866	240,482

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	96,866	240,482
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,929	12,813
その他の包括利益合計	△9,929	12,813
四半期包括利益	86,936	253,295
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	86,936	253,295

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	175,981	404,577
減価償却費	435,854	366,177
減損損失	—	4,659
固定資産除却損	4,914	13,218
事業撤退損失	128,018	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	△1,022
退職給付引当金の増減額(△は減少)	57,895	5,302
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△24,772
受取利息及び受取配当金	△1,408	△3,909
支払利息	26,775	18,691
売上債権の増減額(△は増加)	184,890	347,739
たな卸資産の増減額(△は増加)	△134,756	△329,766
仕入債務の増減額(△は減少)	△52,423	32,112
未収消費税等の増減額(△は増加)	—	△57
未払消費税等の増減額(△は減少)	△51,746	183
その他	16,479	△34,981
小計	790,475	798,151
利息及び配当金の受取額	1,408	3,909
利息の支払額	△33,200	△19,364
法人税等の支払額	△73,918	△191,133
営業活動によるキャッシュ・フロー	684,764	591,563
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△75,723	△301,253
有形固定資産の除却による支出	—	△32,722
無形固定資産の取得による支出	△1,454	—
投資有価証券の取得による支出	△37,900	—
投資有価証券の売却による収入	—	27,422
敷金及び保証金の差入による支出	△2,819	△3,727
敷金及び保証金の回収による収入	7,589	27,290
その他	△1,469	△821
投資活動によるキャッシュ・フロー	△111,776	△283,811
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△341,525	△238,725
リース債務の返済による支出	△52,921	△59,709
配当金の支払額	△97,613	△125,256
財務活動によるキャッシュ・フロー	△492,060	△423,690
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	80,927	△115,939
現金及び現金同等物の期首残高	3,024,401	3,254,107
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,105,328	3,138,167

【注記事項】

(連結損益計算書関係)

※1. 事業撤退損

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

事業撤退損128,018千円の内訳は、鹿児島空港、熊本空港、長崎空港の事業場の閉鎖に伴う有形固定資産の減損損失96,426千円、その他閉鎖に伴う費用31,592千円であります。

(減損損失)

第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)において、当社グループは、以下の資産について減損損失を計上しております。

(単位:千円)

用途	種類	場所
電力供給設備	構築物・機械装置	鹿児島空港内 熊本空港内 長崎空港内

当社グループは、事業用資産については事業セグメントを基礎としてグルーピングを行っております。

第2四半期連結会計期間において3空港内の事業場の閉鎖が確定したため、該当資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減損損失96,426千円は特別損失「事業撤退損」に含めて表示しております。

減損損失の内訳は、構築物93,409千円、機械装置3,017千円であります。

なお、処分予定資産の回収可能価額は、使用価値により測定しております。

※2. 減損損失

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)において、当社グループは、以下の資産について減損損失を計上しております。

(単位:千円)

用途	種類	場所
電力供給設備	構築物・機械装置	成田国際空港内

当社グループは、事業用資産については事業セグメントを基礎としてグルーピングを行っております。

当第2四半期連結会計期間において成田国際空港における空港整備計画による工事が開始されたため、該当資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減損損失4,659千円は特別損失に表示しております。減損損失の内訳は、構築物4,602千円、機械装置56千円であります。

なお、処分予定資産の回収可能価額は、使用価値により測定しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	動力事業	整備事業	付帯事業	合 計
売上高				
(1) 外部顧客に対する売上高	2,631,098	1,836,506	613,014	5,080,619
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	2,388	2,388
計	2,631,098	1,836,506	615,402	5,083,007
セグメント利益	304,505	197,361	140,392	642,259

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	642,259
全社費用（注）	△307,545
四半期連結損益計算書の営業利益	334,714

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）において当社グループは、以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

(単位：千円)

減損損失	報告セグメント			合 計
	動力事業	整備事業	付帯事業	
	96,426	—	—	

4. 報告セグメントごとののれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	動力事業	整備事業	付帯事業	合計
売上高				
(1) 外部顧客に対する売上高	2,644,499	1,868,467	627,178	5,140,145
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	2,922	2,922
計	2,644,499	1,868,467	630,100	5,143,067
セグメント利益	420,651	187,973	121,785	730,410

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	730,410
全社費用(注)	△319,610
四半期連結損益計算書の営業利益	410,800

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)において当社グループは、以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

(単位:千円)

減損損失	報告セグメント			合計
	動力事業	整備事業	付帯事業	
	4,659	—	—	4,659

4. 報告セグメントごとののれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。